

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	05	01	0401	市営住宅環境改善事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	3	住宅の安定確保			
目的	市営住宅の大規模修繕					
対象	市営住宅など					
意図	長寿命化が図られるとともに、安全性、快適性等機能が向上する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
平成25年度繰越分（平成24年度繰越分含） ○天下田D棟改修工事（24戸） 内容：外壁・ベランダ・給排水等の改修実施設計						
平成26年度 ○天下田住宅F棟改修工事実施設計（24戸） 内容：外壁・ベランダ・給排水等の改修実施設計 ○本館住宅解体実施設計、解体工事（201～218号:3棟18戸）						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	大規模改修戸数（天下田住宅）	戸	計画	24	24	
			実績	24	24	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	大規模改修進捗率（天下田住宅）	%	目標	48.0	60.0	
			実績	48.0	60.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 目標値の設定根拠：市営住宅等長寿命化計画に基づいて設定。 平成26年度の工事は昨年度繰越の天下田D棟の改修、本館の解体工事（201～218号）を実施した。 快適な居住環境を入居者へ提供するとともに、一定の居住水準の確保が図られた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市営住宅の整備及び管理は公営住宅法に基づいているものである。当該事業は、天下田住宅の老朽化のため、市営住宅等長寿命化計画に基づき大規模修繕するものであり、公共関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	天下田住宅は、全9棟あり、A棟～E棟を実施済。平成26年度はF棟の改修工事実施設計を行い、順次改修を実施する計画となっている。改修により住宅の機能向上はもとより、長寿命化が図られ、入居者の居住環境が向上する。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	公営住宅の整備は一定水準以上の品質と性能を有する施設でなければならない。必要以上の機能は備えておらず、事業費の削減は難しい。また、人件費については、工事管理業務や設計業務など入札により外部委託しており、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	受益者は、既存入居者であるほか、新規の入居者であり、受益機会は均等である。また、改修後の住宅は利便性が向上することから、家賃は改修前よりも増額となる（公営住宅法に基づき算定）
総合評価 …上記評価結果の総括		
施設の長寿命化と入居者の良好な居住環境を確保するため、給排水、外壁等の改修工事を行い、市営住宅の住環境の改善に努めた。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	08	05	01	0401	市営住宅環境改善事業

単位：千円

	25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	198,047	125,886		△ 72,161
財源内訳	国・県	98,473	60,260	△ 38,213
	地方債	79,000	45,500	△ 33,500
	その他			
	一般財源	20,574	20,126	△ 448

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

安全・安心で快適な生活基盤の充実に努めます

事業開始の背景・経緯

耐用年数を経過した市営住宅の計画的な修繕・補修による長寿命化を図る必要があることから、花巻市営住宅等長寿命化計画を策定し、修繕・補修、建替等の市営住宅等の活用方法を定め、長期的な維持管理を行う。

事業概要

平成25年度繰越分（平成24年度繰越分含）

- 天下田D棟改修工事（24戸）
内容：外壁・ベランダ・給排水等の改修実施設計

平成26年度

- 天下田住宅F棟改修工事実施設計（24戸）
内容：外壁・ベランダ・給排水等の改修実施設計
- 本館住宅解体実施設計、解体工事（201～218号：3棟18戸）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

担当部署 部名 建設部 課名 都市政策課 担当係長 及川昌規 内線 546

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○天下田住宅改修

改修概要

設備（トイレ、浴槽、台所、洗面所等）・建具（サッシ内側）・外壁・屋根塗装等
スケジュール

棟	構造	戸数	建築 年度	実施年度										
				22	23	24	25	26	27	28	29	30		
A	中耐 4階	24	S 5 2	○										
B		24	S 5 3		○									
C		24	S 5 4			○								
D		24	S 5 5					○						
E		24	S 5 6						○					
F		24	S 5 7							○				
G		24	S 5 8								○			
H		16	S 5 9										○	
I		16	S 6 0											○

事業費（平成26年度）

- 天下田F棟設備改修等実施設計業務委託 4,860千円
- 市営本館住宅(201～218号)解体工事実施設計業務委託 810千円
- 市営本館住宅(201～218号)解体工事 13,679千円

特定財源

国1/2（社会資本整備総合交付金/公営住宅ストック総合改善事業）

(繰越分)

- 天下田D棟改修工事 106,165千円
(うち繰越明許分 8,804千円、事故繰越分 97,361千円)